

# 新坂井市政スタート



## 池田市長1期目キーワードは 「笑顔」「挑戦」「協働」

坂本憲男市長の退任に伴い行われた坂井市長選に初当選した池田禎孝氏が坂井市役所に初登庁。職員から花束を受け取り、笑顔を見せた。新3役が決まり、坂井市の次なるステージに向けて新坂井市政がスタートした。

池田 禎孝 いけだ・よしただか  
昭和37年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。昭和61年県庁入庁。健康福祉部長、嶺南振興局局長、農林水産部長などを歴任。令和4年4月坂井市長に初当選。60歳。

「チームさかい」の  
リーダーとして

無投票かと思われた坂井市長選は一転、新人対決の選挙戦に突入。元県農林水産部長の池田禎孝氏が3万1339票を獲得し圧勝、坂井市の新市長が誕生した。

池田氏は県職員時代の実績をアピール。市民の役に立ちたいと、市内4地域を限なく回り演説会を重ねた。選挙は初めての経験であり、市民との触れ合いは生涯忘れられないものとなった。

市長席に座った池田市長は「市政運営を担わせて頂くことになり、その使命と責任の重さに身の引き締まる思いだ。